

ありがとう

高久保育園 大同保育園で閉園式

高久保育園



昭和51年に高久保育所として開所し、創立以来677人の児童が修了しました。3月11日に閉園式が行われ、46年の歴史に幕を閉じました。

閉園式の第1部では、保護者が手作りした壁飾りで彩られた園のホールで、ネロさんによる「思い出コンサート」が行われました。園児は感謝の気持ちを込めて園歌などを歌いました。

第2部は、午後3時半から園庭で行われ、平山町長は「温かく見守ってくれた地域の皆さまに感謝する」とあいさつしました。その後、「高久保育園ありがとう」の合図に合わせて、保護者や園児らが約100個の風船を空に飛ばし、保育園との別れを惜しみました。

▶温かい雰囲気に包まれた「思い出コンサート」



▶小幡大和さん(6) (写真右)は、「風船がとてもしきれいで楽しかった」と笑顔で話しました。



大同保育園



昭和47年に大同へき地保育所として開所し、創立以来750人の児童が修了しました。3月17日に園ホールで閉園式が行われ、50年の歴史に幕を閉じました。

閉園式には、年長児と保護者らに参加し、斎藤桂子園長は、「地域や保護者の方のご協力の上に歩んできた50年だった」「なすのそら保育園になっても、子どもたちが、伸び伸びと自分らしさを発揮して成長することを願っている」とあいさつ。年長児18人は手づくりのキャンドルを持ち、一人ずつ大きな声で将来の夢を発表しました。将来の夢はケーキ屋さんと発表した石井乙葉さん(6)は、「ろうそくに火をつけてどきどきした

けど、上手にできた」と胸を張りました。



▶キャンドルを大切に持つ園児たち。最後は静かに火を消し、園とお別れしました。



高久、大同保育園は、統合・民営化され、4月から「なすのそら保育園」としてスタートします。